

平成29年10月22日執行

衆議院小選挙区選出議員静岡県第5区選挙公報

静岡県選挙管理委員会

ぶれずにまっすぐ！ 地元を思い、地元に尽くす！

経済成長をさらに加速

アベノミクスの経済効果はマクロ経済の指標では顕著な伸びを見せていますが、皆様に実感していただくための政策を進めます。

安倍内閣発足前
名目GDP493兆円(2012年10-12月)
安倍内閣発足後
名目GDP543兆円(2017年4-6月)
50兆円増(10.1%増)

企業収益も同時期対比で26.5兆円増(10.1%増)結果として企業の内部留保合計も407兆円と過去最高。経済を長期間安定させることで企業に安心感を与え内部留保を賃金や設備投資に向けてもらうマインドが必要です。また雇用や従業員への配分をした企業への減税などの政策により経済効果の実感を働く皆様へ。

社会保障の安心を全世帯に

老後への不安を解消。医療・介護のさらなる充実のために現場での利便性を向上させるリノベーションを積極的に導入し質の向上とともに必要経費の削減を提言します。少子化の抜本対策に向けて、幼保の無料化や子育て世代の雇用環境の改善を明確な財源を特定したうえで実現します。

平和の為の強い日本を

日本の周辺地域の不安定化が日本の危機に繋がってしまわないよう、平和安全法制によって新設された存立危機事態における防衛を実行できるよう防衛環境の充実を目指します。抑止力を高めることにより、我が国に対する威嚇や武力行動を起こさせないことが重要です。また自衛隊の活動における国際的な立場も明確に定めることが重要です。

地域の為の選択肢

前回の選挙から2年9ヵ月地元での対話を続けてきました。そこで学んだ地域の課題の解決に全力で取り組みます！社会資本整備予算の獲得・南海トラフや火山に対する防災・地域の特色を生かした農業振興など、地元の声を国政に。



よしかわ

たける

たける経済日本!



昭和五十七年四月七日生まれ(三十五歳)

吉川たける

自民党公認

地域のための選択肢!

比例は

日本共産党

くたせよ。

市民+野党
日本共産党の躍進で

安倍政権に退場の審判を

政治を国民の手に
とり戻しましょう

- 1 ノーモア「広島・長崎」ビキニ
- 2 浜岡原発再稼働NO!
- 3 原発ゼロへ
- 4 核兵器禁止条約へ参加を



- 1 税金の集め方
消費増税10%
「見直し」でなく中止に
- 2 税金の使い方
社会保険、若者、子育て中心の予算に
- 3 働き方
8時間働けば
普通にこなせる社会へ
- 4 地域経済
中小企業・農業を応援し
地方を再生

99%国民のための政治を

1%富裕層のためでなく

憲法に「自衛隊」を書き込んだら、「戦力を持たない」「交戦権を認めない」という9条2項が死文化に。海外で無制限の武力行使に道を開くのが狙いです。

安倍9条改憲許さない

立場のちがいを「えて力をあわせましょう」
憲法を変えるな、政治を変えろ！そして、人間らしく働き、学び、暮らせる社会へ。こんどの選挙は、「自公+その補完勢力」対「市民+野党の共闘」の対決が浮き彫りとなりました。私は、安保法制廃止、立憲主義をとり戻すため、ブレずに市民のみなさんと力をあわせ、全力を尽くします。

北朝鮮問題
経済制裁とともに、憲法9条もつ日本こそ、対話による平和的解決を



検索 JCP静岡



プロフィール
●1954年生まれ、62歳。●東洋大学経済学部卒業。●東邦生命保険相互会社勤務。現在、党県委員、東部地区副委員長。●趣味：観劇・スポーツ観戦。●特技：剣道4段。

井口まさひこ

日本共産党

細野豪志(ほのこうし) 経歴

- 1971年8月21日生 滋賀県近江八幡市出身
- 1995 京大法学部卒業 三和総合研究所研究員となる。
- 1999 政治家として公選に合格し静岡県三島市に移り住む。歩いて伊豆半島を一周しながら街頭演説を実施。
- 2000 衆議院議員初当選。予算委員会での税金の無駄遣いの問題を追及。議員年金などの議員特権の廃止に取り組む。
- 2003 2期目/衆議院経産委員会、農水委員会の理事を務め、エネルギー・食糧政策に専門的に取り組む。
- 2005 3期目/役員室長、筆頭政調副会長として民主党の党務・政策の取りまとめ役を担う。海洋基本法、宇宙基本法を議員立法で提出し成立させる。
- 2009 4期目/首相補佐官、原発事故担当大臣、環境大臣として原発事故対応の責任者となる。その後、与野の政調会長として政府の政策を統括。
- 2012 5期目/民主党幹事長就任
- 2015 6期目/民主党代表選挙に挑戦。
- 2016 民進党 代表代行に就任。
- 2017 8月 民進党を離党。
9月 希望の党設立にチャーターメンバーとして携わる。

情報公開を徹底し、しがらみ政治からの脱却。弱い人の立場に立ち、多様な生き方を認め合う。

希望の党は、日本の未来に希望がもてる10の政策を提案しています。詳しくは公式ホームページをご覧ください。<https://kibunotou.jp/>

- 経済実態を無視した消費税増税には反対。景気が失速する可能性のある、消費税の引き上げには反対します。引上げ凍結の代替財源として、300兆円ある大企業の内部留保に課税を検討。これにより税収と配当機会を通じた株式市場の活性化と雇用の増加を促します。
- 地域経済を 中小企業を徹底支援 支える。正社員雇用を増やした企業の社会保険料負担を免除する「正社員促進法」を制定します。中小企業の人手不足を解消するため、国と職種を限定して外国人労働者の受け入れの拡大を検討します。
- 地域社会の再生 「300円タクシー」を実現させ運転困難な方の移動の自由を保障します。食料自給率50%を目指すために、既存の農業関係補助金を大胆に廃止し、農家への直接払いに一本化する。補助金漬け農業から稼げる農業に転換します。
- 社会保障・教育・福祉 基礎年金、生活保護等をB-1(ベーシックインカム)に置き換えることを検討します。幼児保育、教育の無償化、大学の給付型奨学金拡充により、格差の連鎖を断ち切ります。待機児童ゼロの法的義務付け、配偶者控除を廃止し夫婦合算制度へ移行するなど、女性が働きやすい社会を創ります。
- 現実的な外交・安全保障 近年の我が国を取り巻く安全保障環境に対し、与野党の不毛な対立から脱却し、党派を超えて対応します。平和維持活動等で海外派遣される自衛官を守るため、誤想防衛などの過失事業を国外犯規定に加えることを検討します。日米同盟を深化させ、地位協定の見直しを求める等、日本の主体性を確立します。
- 地域振興 伊豆縦貫道、国道138号線、国道1号世原山中BPO、国道139号富士改良をはじめとするインフラ整備を推進。東京オリンピック、パラリンピックを機に、地域経済活性化を。世界からの観光客の誘致のために田子の浦港へのクルーズ客船の寄港を誘致します。
- 憲法 「地方でできることは地方で行う」という分権の考え方、課税・財政自主権などを位置づけるため、地方自治に関する憲法第8章を改正します。幼児教育の無償化を憲法に加え、法律化を促す。



希望の党 衆議院議員候補
静岡県第5区

細野豪志

日本に希望を。

明日への
一票。

思いを託す。未来をひらく。



「明日への一票。」スペシャルムービー公開中!



Jam9

衆議院議員総選挙

最高裁判所裁判官国民審査

投票日 **10月22日(日)**

投票時間 / 午前7時から午後8時まで

投票日に仕事やレジャーなど予定のある方は「期日前投票」をしましょう。
期日前投票は、複雑な手続きもなく、簡単に行うことができます。

期日前投票 10月21日(土)まで

投票時間は原則として午前8時30分から午後8時まで
最高裁判所裁判官国民審査の期日前投票の期間も同じです。

投票の詳細についてはお住まいの市区町の選挙管理委員会にご確認ください。

その思い 投票しなきゃ 伝わらない。
静岡県選挙管理委員会・静岡県明るい選挙推進協議会